広報
さめがわ

第117号
昭和38年
8月20日発行

編集兼発行
鮫川村役場
鮫川村公民館
塙町　佐藤印刷所



（右）
河川工事も着々行なわれ、いま家畜管理所をめぐる鮫川の護岸工事が進められています。



（左）
早くも穂を垂れた農林二一号

稲作立ちなおる

六、七月の雨ふりと低温でことしの稲作はずいぶん心配されました。

親潮の発達が盛んで、黒潮の北上をさまたげるという海洋異変が見られ、気象台は幾度か夏季低温を予報しました

しかし土用の照りこみは相当のもので、農家のいもち病防除活動は活ばつを極めました。

村、農協、共済は提携して県下でもめずらしい大型散粉機二台を購入、薬剤の現物補助も行いました。

八月の気温も高く、上中旬にかけての出穂開花は順調に進んでいます。

今月一ぱいは高温を続けさせたいものですね。

8月の人口と世帯

人口	7,858
男	3,894
女	3,964
世帯数	1,255

役場に四課を設置

事務能率の増進サービスの徹底を目ざす

村では激増する町村事務を能率的に処理し、住民へのサービスを徹底するため、庁内の責任ある執務体制を確立し七月一日から課制を施行しました。

課は庶務課、税務課、住民課、産業課の四課で、次の表にあるような人事配置になっておりますから今後よろしくお願いします。

覧一織組政行

- 村長
  - 役助
  - 役入収
  - 課業産 長課 金沢次男
    - 係業事 長係 鷺野谷武志
    - 係興振 長係 中井光徳
    - 係祉福 長係 青戸彦磨
    - 係籍戸 長係 (芳賀文雄兼務)
    - 定産係 固資評価 長係 高坂幸男
    - 係税課 長係 (坂本恵司兼務)
    - 係政財 長係 鈴木英亮
    - 係政行 長係 (緑川清幸兼務)
    - 係務総 長係 緑川清幸
  - 出納員 前田守保
  - 課民住 長課 芳賀文雄
  - 課務税 長課 坂本恵司
  - 課務庶 長課 蛭田栄
  - 農業委員会 地事農主 岡部伝
  - 診療所 主事 鷺野谷満 看護婦 矢吹芳子
  - 公民館 主事 鈴木一
  - 教育長 主事 矢吹義照
  - 教育委員会

期待と責任のなかに 選ばれた新しい農業委員

七月十五日に農業委員が改選されて次の方が新しく農業委員になられて今後三年間本村の農政にたづさわることになりました。農業を取り巻く諸情勢はめまぐるしく変りつつあります。農業構造改善事業もその一つであり、後来の農業の姿が大きく変つて他産業並みの水準に成長されようとしております。この中にあつて農業農民の代表者として直接農政にたづさわる農業委員の仕事はまさに大きく重く今後新しい農業委員に寄せる期待は大きいものがありますおしみない努力と活躍を念願してやみません。

選挙委員 高木宗一 蛭田喜代次 舟木三郎 芳賀輔宗 江田清 鈴木道郎 鈴木公義 斉藤一男 矢吹一郎 坂本由男 堀川信正 生田目幸次郎

選任委員 芳賀忠治 矢吹清敏 関根信政 水野芳光 中川西金之助

なお七月二十六日初の農業委員会で会長以下の役員が決まりました。

農業委員会長 中川西金之助
副会長 芳賀忠治
県農業会議一号委員 矢吹清敏
農地小委員長 舟木三郎
振興小委員長 関根信政
(農地主事 岡部伝)

毎月五の日は 税の相談日

五月から全国の税務署が統一して毎月五日(日曜、祭日にあたるときは翌日)を「税の相談日」としました。この相談は税務署の管轄にかかわらずどこの税務署へ相談しても良く、当日は署の課長や係長が相談にあたることになっています。後日連絡を要する場合以外はすべて匿名で相談ができますから、税金について困っていることやわからないことなどについて、どうぞ気軽に相談されるようおすすめします。

おめでた

五月出生

一日二本田 酒井光子
一日宿ノ入 矢吹浩美
五日内ケ竜 近藤次江
七日上耕地 芳賀早月
八日菅田 関根春雄
一三日新宿 鈴木洋子
一四日宝木 水野守
一五日青生野 藤田留男
一八日茅 藤田利夫
一九日青生野 中島悦子
一九日青生野 瀬谷祐治
二二日新宿 五十嵐孝代
二三日大平 関根邦芳
二六日森ノ前 中川西宏幸
二七日石井 中川西里美

六月出生

一日押野 関根幸雄
一日内ケ竜 味原春枝
一七日関口 蛭田みゆき
二三日青生野 笹島みどり
二三日大戸中 小松育子
二四日楢久保 白坂洋子
二七日折戸 阿久津健男
二七日青生野 平久井洋子

七月出生

三日青生野 平久井トメ子
六日草牛 鈴木文雄
七日青生野 岡部かおり
二一日大戸中 松本広美
二五日馬生田 鏑木節子
三一日前田 金沢美樹

おくやみ

五月死亡

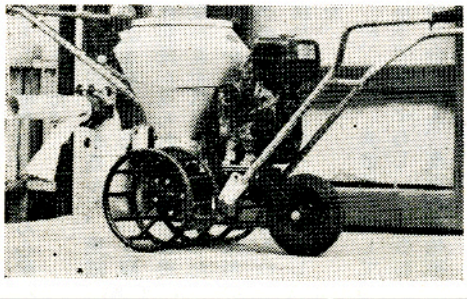
一九日宝木 水野ダイ
二四日蕨ノ草 渡辺佳彦
二四日越虫 野内キク

六月死亡

二三日沼野沢 本郷マキ
二六日越虫 石井重高
二九日彦次郎 星トリ
三〇日彦次郎 赤坂市三郎

七月死亡

一日酒垂 石井トキ
七日追木 水野寅蔵
一二日酒垂 石井雅子
一三日大根屋敷 萩原シノ
二〇日萩ノ沢 坂本重幸
二七日大塩 岡郎トキ
三〇日青生野 岡部冬吉



村農協共済で購入した畦畔ダスター10a当り23分で防除できる。タンクに80a分の紛剤が入る。

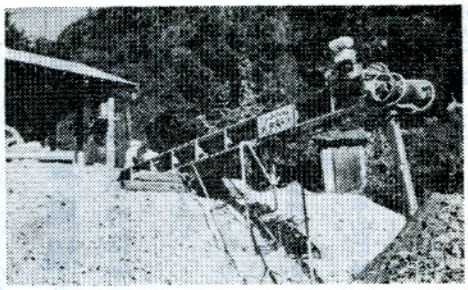
"自衛隊員募集中"

明るい生活を営み、勉強に技術の修練に、若人達の教養と憩いの場として親まれている自衛隊。現在一般隊員、各種学生を募集していますから応募して下さい

1 応募資格
十八才以上二十五才未満の男子で中卒以上の者
2 採用及び入隊毎月下旬
3 初任給 一万百円
4 申込場所
村役場または郡山駐とん部隊

詳しいことは庶務課総務係でおたずね下さい。

砂利採取 能率上る



失対事業の砂利敷工事は毎年続けられ、村内の重要路線はだんだん固まつてきました今年は外国製の新鋭砕岩機一台、ベルトコンベア二台を国庫補助をうけて購入したので採石は一段と能率が上るようになりました。

新宿の舗装 工事継続

新宿地内の県道舗装工事は今年も継続して行われることになり、高校前から上の方と小松さん前から矢内さん前にかけて工事が初められました

公共のことに理解の深い矢内嘉続さんは万人の通る道路のためと、住宅の改造を決意必要な道踏敷地を進んで提供されました。



同様の趣旨で小松幸一さんも屋敷の一部を提供されました。

（上の写真は矢内さん宅）



（矢内嘉続さん）

遠ケ竜協業 養蚕大多忙

遠ケ竜養蚕協業組合で山林を開こんして造つた集団桑園や軽量鉄骨の壮蚕共同飼育所は県でも初めての試みとあつて、県内各郡からの視察者が続々と訪れ案内やら説明やらで汗ダクの体。

先月は副知事湊徹郎さんもわざわざ視察され、関係者を激励されました。



すすむ広域行政

村長 石田卯子八

村の歩み (1)

初めて町村制が施行された当時の鮫川村は、赤坂中野村、外六ケ村の合併で、八方里半に及ぶ地域を占め県下有数の大村としてきこえたものです。

それが近年町村合併が進むにつれ、大市町村が相次いで現われ、今では県下でも小さい方の類型に入るようになりました。

人口段階から県下町村を七つに区分していますが、わが村は下から二番目のグループに入り、都路、大信、泉崎、東、大東、三和など、あまり目立たない町村と肩をならべているわけです。

この区分からはつきりいえることは、小さい町村ほど財政力が乏しいということです

今のところ財政の力はそのまま行政の力につながりますから、大きい町村ほど住民福祉のために施策し得る力が強いことになりかねないのであります。

しかし立地的にもいろいろな制約があり、すべての町村が合併するわけにはいかないので、広域性の仕事については、一部事務組合という町村の連合体を作つて処理することが行われています。

わが村でも伝染病棟は古殿町と共同で、県立竹貫病院の構内に建設しており、し尿処理場は郡内四町村合同で、塙町内に建設中であります。

また今春からは、農業機械利用一部事務組合を郡内に作り、県から受けたブルドーザー、トラクターなどの大型機械を共同利用する施設も設置されました。

今後の経済成長と行政水準の向上につれて、広域行政の施策はますます多くなるものと考えられます。

先般新産業都市の指定がきまりました。指定をうけた常磐——郡山地区は、今後どのような形に変つていくか、おそらく郡山、須賀川を中心とする十数ケ町村は合併という線が出てくるでしようし、常磐五市の合併は既定方針とも見られます。

広域経済圏がそのまま行政単位を構成する時代がくることも考えられましよう。

ここで山村鮫川の将来についても、皆様とともに深く考えなければなりません。

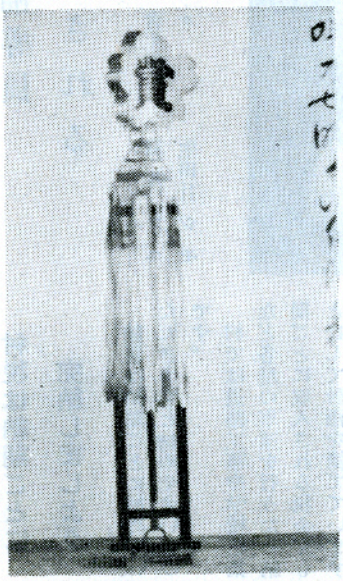
これからは、一村の将来を考える場合、これをめぐる広域経済圏の一環として捉えなければなりませんから、唯我独尊や独断であつてはなりません。

この地域はすくなくとも県南一団地として、関東経済圏に半ば入る現実を直視しながら、科学的な調査と観察を先づ必要と考えるのであります。

金ばれん再びわが村に

消防協会東白川支部で初めて金ばれんを作つたとき、郡内一の成績で鮫川村消防団が最初に受賞の光栄をうけたがこんど再び無火災の成績で、わが村消防団に金ばれんが授与されました。

又郡のポンプ操法競技会で第一分団（中野）が自動車ポンプ第一位の成績を獲得八月十九日郡山市で開かれた県大会に出場して健闘しました。



公民館だより

▼婦人学級

去る七月開講した中央婦人学級に村内の若妻六十三名が入級し、毎月一日を講座日に新しい農業の知識や家庭生活について学習しています。

九月には一日に農繁期の保存食のつくり方の実習を行ない、十日に安積町婦人学級との交歓会を中心にした研修旅行を行ないます。

▼青年学級

在村青年の減少で学級生も四十八名と減少していますが毎月十日、二十日を講座日にラジオ農業学校のテキストを中心に学習しています。

九月は十一、十二日の二日間にわたり石川地方の先進的な農業経営をしている農家を訪問し、新しい農業の在り方を研究これからの学習に役だたせようとしています。

▼部落公民館

本年は西山と富田の二部落館をモデル館として、環境衛生の改善と健康管理、一般的な体育（バレーボール）などの普及をはかることになりました。このほかに中野公民館は昨年にひきつづき新生活運動指定地区として環境衛生の改善、食生活改善等の事業を進めています。

▼巡回婦人学級講座

九月中旬ごろに村内各地区ごとに婦人会と共催で、農繁期の保存食のつくり方の講習会を開きます。各婦人分会長さん方を通じて通知しますから、婦人の皆さん方の受講をお願いします。

▼国民年金を受けましょう

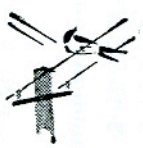
県下では毎日一人の割合で拠出年金をうける方がでております。

●鮫川村では障害福祉年金を受ける方が一九人、母子年金を受ける方が二六人あります

村人のための体育施設

村民運動場を建設

壇の岡を中心に一三、五〇〇平方米



村民運動場のねらい

村民運動場のわが村には広場というものが少く、学童の運動にもことかく有様です。

それで一般村民のための体位向上の場、レクリエーションの場として、村民運動場の設置が計画されました。

計画のあらまし

村民運動場は村の歴史と伝統がある壇の岡を中心として理解ある隣接地主さんたちの協力をいただいて、拡張整備される計画です。

凡そ現在の壇の岡を二m程度切り下げ、一三、五〇〇平方m（一町三反六畝）にひろげ、ここに陸上競技場、野球場、テニス、バレーコートを作る予定になっています。

附属施設として更衣室、倉庫、便所、観覧席も予定されております。

皆様の協力で完成

この施設は県内の村としては初めての計画で、県の保健体育課から力こぶを入れていただき、全国で三ヶ所位しかない国庫補助の枠にもはいりました。

工事は陸上自衛隊に委託することになりますが、雑工事については皆様の御協力をお願いする場合もでて参りますのでよろしくお願いします。

新しい母子補導員任命される

前任者は四月三十日で任期満了となりましたので次の方々が任命されました。

西野	高坂エイ	青生野 石井フユ
〃	生田目トミ	〃 生田目シモ
西山	市川モト	
〃	水野茂代	
中野	角田キワ	
〃	杉山テイ	
〃	鈴木貞子	
東石	前田シツ	
〃	中井シゲ	
富田	青戸シヅヨ	
〃	生田目チカ	
渡瀬	近藤シゲ	
〃	芳賀サタヨ	



納税だより

八月の納税は国民健康保険税第二期分

おくれずわすれず　納期に完納！

村県民税、固定資産税、保険税、軽自動車税、木材引取税等未納の方は、御都合のうえ、今月中に完納して下さるよう御協力お願いします。

なお七月末日現在の大字別納税成績は次のとおりで前年同期と大差ありません。

在7月末日現　大字別納税成績表

	固定資産税	村県民税	自動車軽税	保険税
西野	81%	83%	92%	83%
西山	77	76	83	75
中野	84	84	72	79
東野	66	61	58	58
富田	57	67	43	47
渡瀬	94	94	87	89
青生野	68	50	58	59
計	77	77	71	72

村税は納期ごとに完納しましょう

納税は納期ごとに納めていただきますと納めやすいものです。

村では道路工事や学校建築など各種の事業を行うため納期ごとに収入される税金をもとにして計画を樹てていますから、納期ごとに賦課された税金がその時期に納まらないと村政に大きな影響を来します。よって資金の計画をたて納期ごとに完納を実行されるようお願いします。

あとがき

▽役場の機構改革で、広報も大変お待たせしました。こんど庶務課の行政係が編集担当者になり、公民館と共同で発行することになりましたのでよろしくおねがいします。

▽心配された稲作が土用以来大分もちなおしてきたのでひと安心です。晩生の出穂開花が終るまでは油断ができません。

▽引きつづき九月号にとりかかりますから、皆様の声をたくさんおきかせ下さい。

▽今年の月おくれお盆は徹底したようです。新しい生活慣習も理解と努力次第といえるようです。